



学校だより

であい ふれあい ひびきあい

4月号改訂版

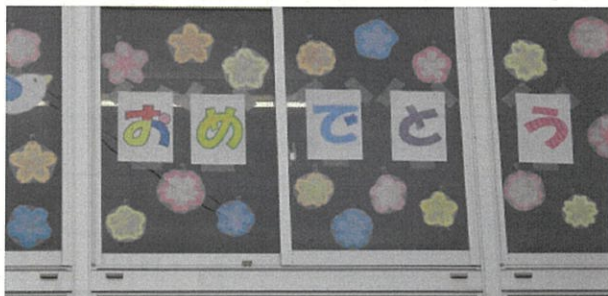
令和3年4月8日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

入学、進級おめでとう！

校長 福田 美穂

校庭の桜が次々と咲き、春の温かい風に揺られてよい香りを漂わせていました。善部のまちなみ色とりどりの花や青々とした葉に囲まれ、きれいな街並みがより一層きれいです。その中を歩いていると、目や鼻や耳から感じる生命の息吹に、自然と力が湧いてきて、マスクの中でも大きく深呼吸したくなります。

さて、令和3年度が始まりました。新入生69名を迎え、全員で469名の子どもたちがともに学び生活をします。



昨日は新6年生が入学式準備や新年度準備に力を貸してくれました。職員とともに新入生のことを思って教室をきれいに飾り付けたり、進級した教室ですぐに学習ができるようにと準備をしたりしました。この日の2時間ほどの活動が、6年生の最上級生としての自覚を高め、これから一年間、善部小学校

のリーダーとしてのやる気にスイッチをいれるのです。全職員の期待も背負い、あいさつの声もひときわ大きく、てきぱきと活動する姿にスイッチが入ったと感じました。このスイッチは、自己肯定感につながります。自分は誰かの役に立っている大切な存在であるという思いはとても大切です。発達段階によって自己肯定感を引き出す行為は異なるそうです。ひたすら愛してほしい幼児期、たくさん褒めてほしい児童期、自分のことをわかってほしい思春期、さらに自分を認めてほしい青年期。自分の生き立ちを思えばその通りだと納得する話です。6年生だけでなく、どの子どもも自己肯定感を高められるよう、教職員は児童一人一人の活躍の場をつくり、してはいけないことはいけないこととしっかりと指導したり励ましたりして全力で支援し、みんなでたたえていくようにしていきたいです。そして、今年度も新型コロナウイルス対策をしながらですが、できるだけ多様な教育活動で子どもたちの力を伸ばしていく所存です。

保護者の皆様、地域の皆様には今年度も学校教育に深いご理解とご協力をよろしくお願い致します。

